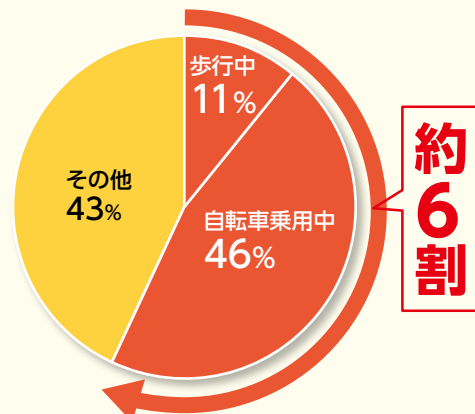


通学路対策

通学路など子どもたちの移動経路において
5年間で**75kmの歩道整備**を推進します。
(令和3年度から令和7年度)

- 栃木県では、令和5年中に中学生以下の子どもが関係した交通事故の件数は**241件**で、**268人**が被害に遭い、このうち歩行中や自転車での事故は約6割の**152人**にも及んでいます。
(出典：“とちぎ”の交通事故 令和5年中(栃木県警察本部))
- 子どもたちをはじめ、県民を交通事故から守り、安全で安心な日常生活を確保するため、関係者と連携した交通安全対策に取り組むなど、誰もが安全で安心して利用できる道づくりを推進します。

子ども(中学生以下)の交通事故死傷者数状態別割合



出典：“とちぎ”の交通事故 令和5年中(栃木県警察本部)



歩道がなく危険な道路を改善



(主) 大田原氏家線 さくら市 大野



合同点検実施状況



道路管理者・学校・警察の3者合同で通学路の危険箇所の点検を実施します。

事故危険箇所の対策

県が管理する道路で、事故危険箇所は、
89箇所 指定されています。(平成29年1月指定 83箇所)
(令和4年3月指定 6箇所)

- 栃木県では、10万人当たりの交通事故死者数が令和5年度では**3.09人(ワースト第13位)**になるなど、全国でも常に上位にランクしており、交通事故の対策が急務となっています。
- 交通事故が多発している箇所や、ETC2.0プローブデータ等のビッグデータから特に事故が発生しやすい箇所を「事故危険箇所」に指定し、公安委員会と道路管理者が連携して集中的に対策を進めています。

事故危険箇所における緊急対策の実施例



(主) 大沢宇都宮線 宇都宮市新里町



(主) 宇都宮笠間線 宇都宮市上河原交差点



(主) 宇都宮向田線 宇都宮市陽東

バイパスを整備し交通の転換を図りました

(主) 宇都宮鹿沼線 鹿沼市東町



対策前



対策後(バイパス整備)

歩道を整備し安全に通行できるようになりました

(一) 雀宮停車場線 宇都宮市雀の宮



対策前



対策後